

自然独占

松島格也

kakuya@psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp

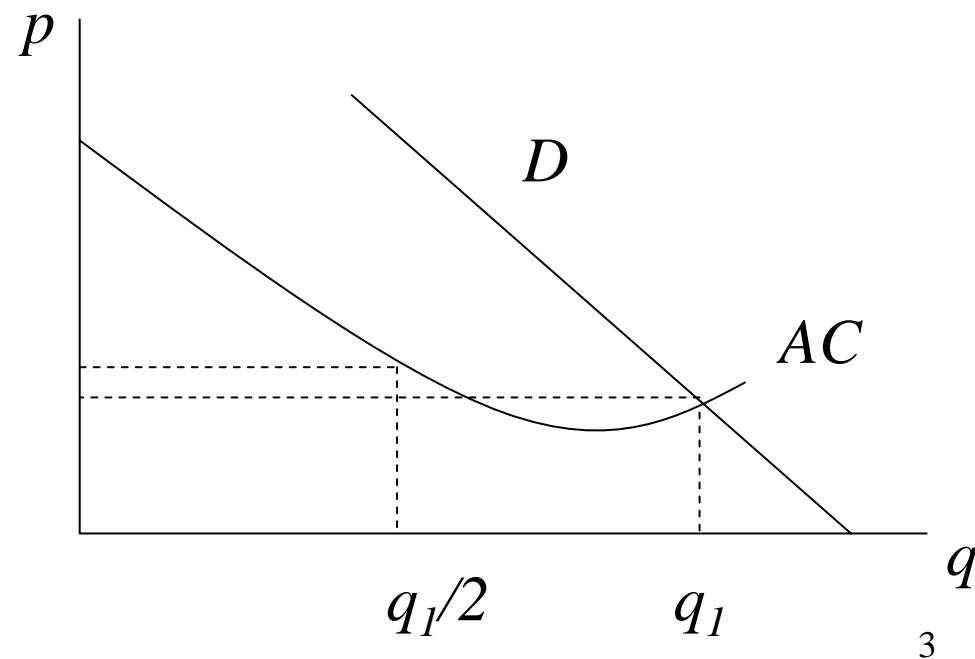
Rm.420

自然独占とは？

- 特定の産業が独占的構造になる技術的・経済的理由を持つことを**自然独占性**を持つという。
- その要因
 - 規模の経済：供給規模が拡大するにつれて、財・サービス1単位あたりの費用である平均費用が低下する
 - 範囲の経済：ある企業が複数の種類の財・サービスを生産するときに必要とされるその企業の費用の合計が、個々の財・サービスを単独で生産するときの費用の合計に比べて小さい

規模の経済性

- 固定費用の存在
- 生産の平均費用が産出量の拡大に連れて減少する

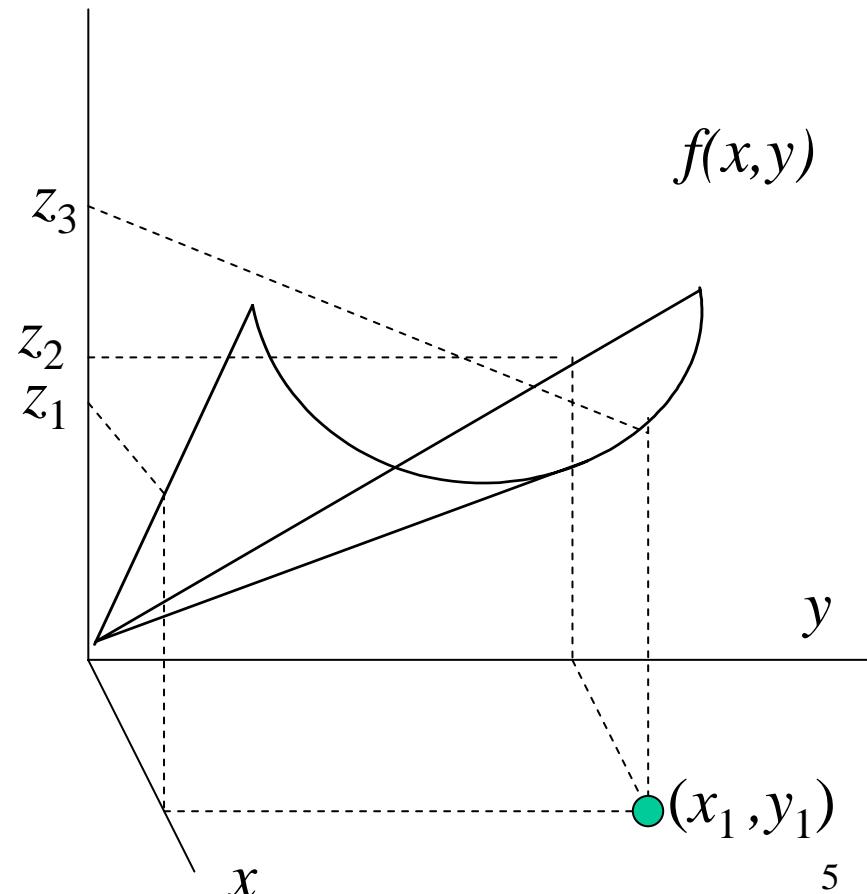


サービスのネットワーク性

- 電気, ガス, 水道, 通信
 - 総費用に対する固定費用の比率が大きい
 - 需要が多いほど規模の経済性を享受
- cf. ネットワーク外部経済性
 - 需要の増加に伴って幾何級数的にサービス水準が上昇

範囲の経済

- 複数財を生産するときの共同設備の存在
- $f(x,y) < f(x,0) + f(0,y)$



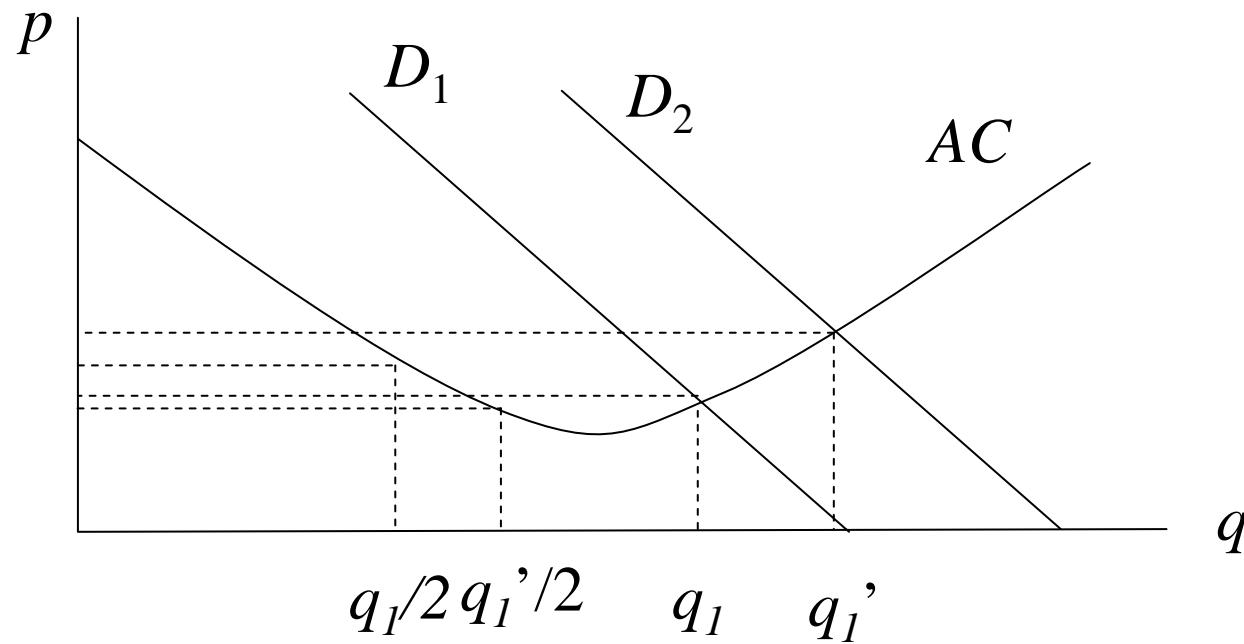
劣加法性

- 複数の生産物を複数の企業が生産するよりも、単一の企業が生産する方が安い場合、費用曲線は**劣加法性**を示すという
- 規模の経済と範囲の経済を一度に含む概念

独占が維持される経済的理由

- ・生産設備の固定投資額を増加させるために新規参入が困難
- ・固定資本は長期にわたって使用され，他へ転用が困難
 - 固定費用の埋没性(サンクコスト)

自然独占崩壊のメカニズム

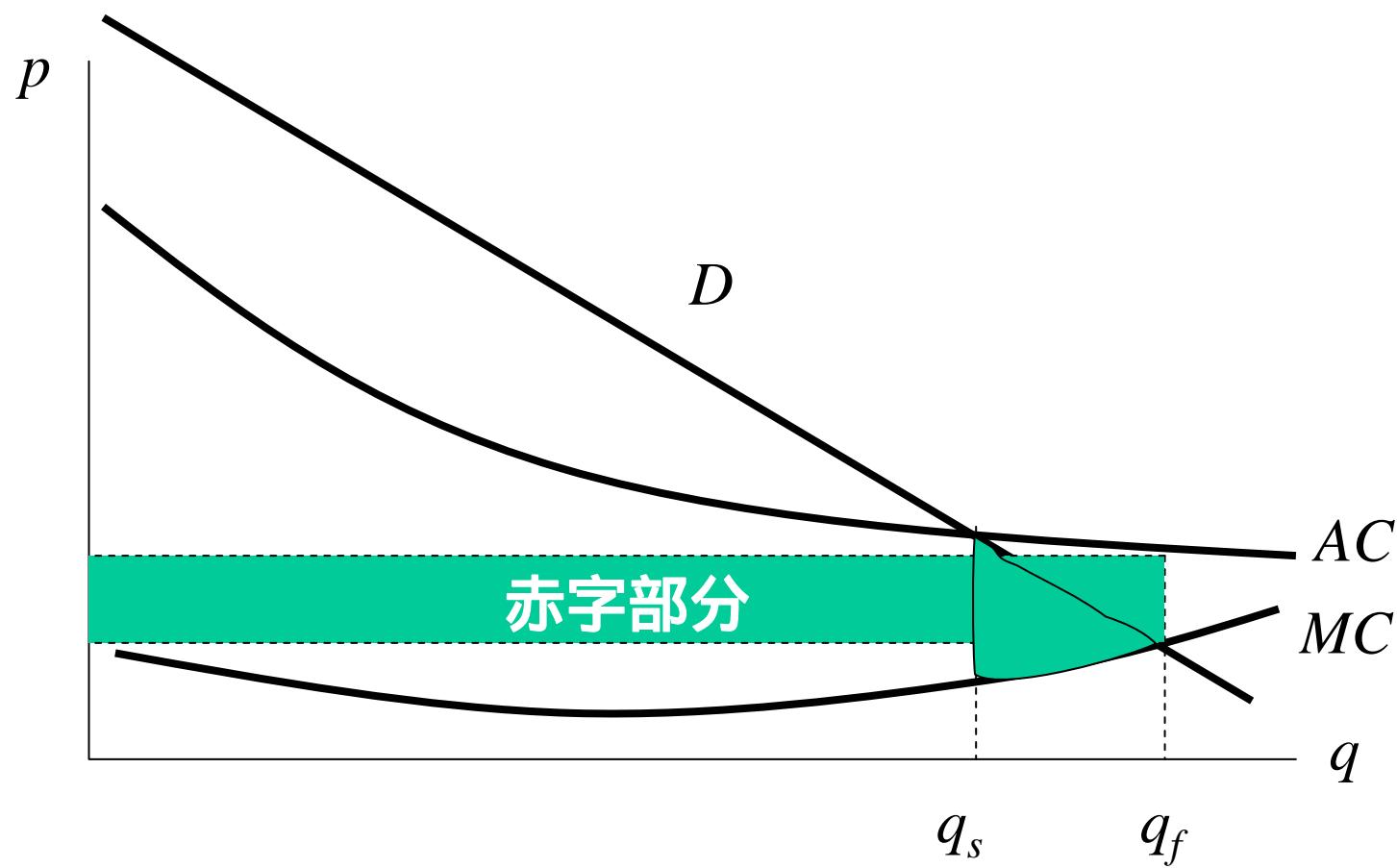


技術革新や新製品・サービスの開発

規制産業の産業特性

	ネットワーク供給システム	費用の劣加法性	費用の埋没性	代替競争	自然独占性
公益事業					
電気(発電) (配電)	×			—○	
都市ガス(生産) (配送)	×			—○	
熱供給				—	
水道				—	
通信・放送					
郵便				—○	
電気通信第1種		(地域内)		—○	
電気通信第2種				—○	
放送(無線) (有線)	×			—○	
運輸				—	
鉄道				—	
国内航空				—	
国内海運				—	
トラック				—	
バス				—	
タクシー・ハイヤー	×			—	
金融					
銀行			×	—○	
証券			×	—○	
生命保険			×	—○	
損害保険			×	—	

規模の経済性と厚生



価格規制とインセンティブ規制

- 費用の劣加法性がある産業
 - 独占的供給の方が費用効率的
 - 独占的価格設定のもとでは資源配分が非効率
価格規制の必要性
- 独占的供給権の付与や価格規制は企業の内部
効率性を高めるインセンティブを損なう可能性
 - インセンティブ規制の必要性
 - 競争の刺激を与える
 - 生産効率向上の成果としての報酬を与える

破滅的競争

- 複数企業が存在する場合，販売量増大を目指して価格低下競争を展開する可能性
 - サービスの同質性
 - 価格競争の結果，全ての企業が市場から退出し，サービスが全く提供されなくなる可能性
- 破滅的競争

レポート課題

- 自らの研究テーマに関連して考えられる市場の失敗(外部経済, 公共財, 情報の非対称性, 自然独占)を説明せよ.
- A4 1-2枚
- メールにてkakuya@psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jpへ提出
- 11/30(火) 午後5時 締切